

静岡県立磐田南高等学校校舎
(令和5年竣工)

教育の今を捉え 未来をデザインする

教育行政職採用案内
2026



＼ 教育行政職採用ページ ／



静岡県教育委員会

Shizuoka Prefectural Board of Education

Mission

教育行政職の役割

教育の今を捉え
未来をデザインする

教育行政職の仕事とは

教育行政のプロフェッショナルとして、次世代を担う児童生徒に対する教育活動を行政の立場から推進する仕事です。

求める人材像

行政の視点と学校現場の視点を併せ持ち、現場の声を施策に反映させる洞察力と施策を実現させる実行力を兼ね備えた、バランス感覚に優れた人材を求めています。



静岡県庁

職員インタビュー

01

学校現場の想いを実現させるコーディネーター

教職の進路を考えていた時に教育行政職の存在を知り受験しました。これまで、教育委員会事務局や県立高校での勤務のほか、知事部局への出向や文部科学省への派遣など、行政実務を幅広く経験させていただきました。一言で「教育」と言っても、部活動改革や不登校児童生徒対策、産業教育など、学生の時には馴染みのなかった分野に関する業務も多く、日々新しい学びがあります。

学校現場では、先生方が熱い想いを持って日々子どもたちと向き合っています。そうした現場の想いを、限られた予算や人材の中で実現可能な形にするための調整はとても大変ですが、子どもたちの未来に繋がっているというやりがいを実感できる仕事です。

職歴（キャリア）

平成28年度	川根高等学校
平成31年度	経済産業部労働雇用政策課（知事部局出向）
令和4年度	教育委員会健康体育課（学校体育班）
令和7年度	文部科学省（派遣）



山内 悠太郎
(入庁▶平成28年度)

Philosophy

静岡県教育委員会の理念

基本理念

未来を切り拓く人材の育成と
社会を生き抜く力を育む教育の実現

取組方針

- 1 未来を創造する力を育む教育の推進
- 2 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進
- 3 地域ぐるみで取り組む教育の推進
- 4 学びを支える基盤づくり

職員インタビュー

02



河村 実嘉子
(入庁▶平成27年度)

教育環境を行政の立場から充実させる仕事

大学で教育福祉を専攻し、様々な背景を持つ子どもたちへの支援を学ぶ中で、制度面から教育に関わる仕事をしたいと思い、教育行政職を志望しました。

現在は、国内外で活躍できるグローバル人材を育成することを目的とした事業に携わり、海外に探究留学する高校生等の支援を行っています。研修会の実施や留学費用の助成などを通じて、生徒たちが海外で自由な発想と想像力を持って様々なことに挑戦し、たくましく成長していく姿を見られることが大きなやりがいとなっています。

今後も教育行政という立場から、より充実した教育環境の実現に尽力したいと考えています。

職歴（キャリア）

平成27年度	田方農業高等学校
平成30年度	健康福祉部地域福祉課（知事部局出向）
令和3年度	教育委員会高校教育課（人事班）
令和6年度	教育委員会教育政策課（政策推進班）

Job Details

業務内容



主な勤務場所

教育委員会事務局、教育機関（中央図書館、総合教育センター等）、県立学校など
※知事部局への出向や国への交流などの機会もあります。

主な業務内容

《教育委員会事務局》

学校教育や社会教育に関する施策の企画立案や教育予算の管理、教育施設の整備など、教育に関する行政実務に従事します。

《県立学校》

学校施設の管理や学校経営予算の執行など、学校教育活動に関する事務を通じて、児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりに関する業務に従事します。

Organization

静岡県教育委員会の組織

教育委員会事務局

教育総務課	高校教育課
教育政策課	特別支援教育課
教育ＤＸ推進課	健康体育課
財務課	社会教育課
教育厚生課	新図書館整備課
教育施設課	静東教育事務所
義務教育課	静西教育事務所

教育機関

中央図書館
総合教育センター
焼津青少年の家
観音山少年自然の家

県立学校

高等学校	８４校
特別支援学校	２５校
中学校	１校

（令和７年４月現在）

Career

キャリア

《能力開発期》

教育委員会での勤務を基本とし、知事部局への出向等を経験する。



主事 幅広く行政実務を経験

主任 専門的な行政実務を経験

主査 専門分野の施策の企画立案

班長・主幹 班の業務のマネジメント

課長代理 課の業務の調整

幹部職員

《能力発揮期Ⅰ》

適性やキャリア志向に応じて業務の専門性を高める。

《能力発揮期Ⅱ》

専門分野の業務経験を活かしてマネジメント業務に従事する。教育政策の意思決定に関与する。

教育行政の専門性を極める3つのキャリアコース

教育部門



教育活動を支える
プロフェSSIONナル

政策部門



教育政策を推進する
プロフェSSIONナル

管理部門



組織や制度を管理する
プロフェSSIONナル

キャリア 政策 部門

政策部門をリードする行政職員として企画・ICT分野を中心に配属
学校現場や他機関（国・知事部局等）を経験

教育政策の意思決定に関与

教育政策の策定等のマネジメント業務に従事

教育政策の計画策定や広報業務を経験

幅広く行政実務を経験

他機関との交流

国・知事部局

学校現場の実務

県立学校

教育行政の基本

本 庁

本 庁
(教育政策課)

本 庁
(教育DX推進課)

交 流
(知事部局：広報)

政策部門以外の業務経験

本 庁
(政策部門の課)

県立学校

本 庁
(政策部門の課)

幹部職員
(課長級以上)

入庁

10年後

20年後

30年後

Recruitment

採用試験情報

令和8年度の静岡県職員採用試験（令和9年度採用）から「教育行政職」の採用試験を実施します。

試験内容や採用予定者数は、令和8年5月頃に公表される受験案内を確認してください。

採用試験の区分	試験職種	試験の種類
大学卒業程度	教育行政	教育行政Ⅰ
		教育行政Ⅱ
大学卒業程度 (秋季試験)	教育行政	教育行政Ⅱ

Questions

よくある質問

Q 1 静岡県職員（教育行政職）になるためにはどうしたらよいですか。

A 1 静岡県人事委員会が実施する採用試験を受けていただく必要があります。
詳細は静岡県人事委員会が公表する受験案内を確認してください。

Q 2 教育行政Ⅰと教育行政Ⅱの試験にはどのような違いがありますか。

A 2 教育行政Ⅰは教養試験と専門試験がありますが、教育行政Ⅱは時事問題や社会政策などを出題範囲とする総合能力試験です。
どちらの試験を選択しても採用後の配属や職務内容に差異はありません。

Q 3 学校に配属されることはありますか。

A 3 主に教育委員会事務局に勤務しますが、教育行政の推進にあたっては学校現場での業務経験が重要であるため、県立学校に配属されることもあります。

Q 4 静岡県教育委員会について詳しく知りたいのですがどうしたらよいですか。

A 4 静岡県教育委員会では、学びの環境づくりに関する様々な施策を推進しています。
静岡県教育委員会ホームページをご覧ください。



教育委員会HPはこちら→



(お問合せ)

静岡県教育委員会
教育総務課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

☎ : 054-221-2628

✉ : kyoui_gyouseijinji@pref.shizuoka.lg.jp